



庄原自治振興区だより

庄原市西本町二丁目17番15号

平成24年3月19日

第65号

TEL・FAX

72-3777



平成23年度役員防災研修会

2月28日(火)、恒例の役員防犯・防災研修会を今年は春の火災予防運動(3/1~3/7)を前に、庄原消防署長 林 静馬 氏を講師に迎え「庄原市の防災情勢について」— 自主防災組織の立上げの重要性 — をテーマに研修を行いました。

火災については、昨年市内における発生件数は43件あり、その内建物火災は22件、5名もの尊い命が奪われました。幸い今年に入ってから火災件数は減少傾向にあり、市民の皆さんの火気取り扱いの一層の注意により、このまま推移することを願っているとのことでした。

また、自然災害については、比較的少ないという思いの強い庄原市ですが、急峻な山々にかこまれた山間部では河川の氾濫、土石流災害に備えが必要である。— 昨年の川北町・川西町・西城町で発生したゲリラ豪雨による土石流災害、昨年の東日本大震災に派遣の署員が撮影した被災地の被害状況や救援活動の様子をパワーポイントを使って説明がありました。

後半では、これらの災害に対してまず必要なのが地域の状況をよく知っている地元の人の初動協力が重要であること。

- ・いざと言うときはまず自分自身の身を守る(てんでんこ)… 自助
- ・次に隣近所の安全確保(出火防止、避難等)… 共助
- ・消防団、消防署等の救助救援を受ける… 公助

公助については災害の規模等により到着までに時間を要する場合があります。いざと言うときに備え公助の前の共助「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る」ために、自主防災組織を立上げ、災害時の避難場所、非常時物出し物品等について話し合い、準備、訓練する必要性を強く感じた研修会でした。



第11回 役員会報告 (2月28日) 協議事項等は次のとおりです。

1. 自治会活性化促進補助金審査結果について・・・活性化補助金審査会の決定を確認
2. 自治会長手当(後期分)等の支払について・・・原案どおり承認
3. 欠員の民生委員児童委員候補者の推薦について・・・2月28日開催の地区推薦会決定事項を報告
4. 福祉団体連携会議について・・・年度末を目途に地域別連携会議開催を確認
5. 平成23年度地域づくりリーダー育成事業について・・・本区から2名の参加を確認
6. 庄原市地域マネージャー活用事業実施要綱について・・・事業概要について説明
7. 第7回庄原市折り紙ヒコーキ大会について・・・大会内容の説明と協力依頼について報告
8. 「地域医療を考える会」シンポジウムの案内・・・行事内容説明と参加要請について報告

役員会終了後、「平成23年度防災研修会」を庄原消防署の林 静馬署長を講師に開催、「自主防災組織の重要性」について研修しました。

まちづくり実践ネットワーク講座

— まちをつくる・みんなで作る —

庄原市自治振興区連合協議会と庄原市主催の「平成23年度 まちづくり実践ネットワーク講座」が2月24日庄原市ふれあいセンターで開催されました。

近隣の振興区等から75名の出席があり、本区からは10名が出席しました。始めに「自らのまちは自らの手でつくる」「市民が主役のまちづくり」を目指して、平成24年4月1日施行の「庄原市まちづくり基本条例」について自治振興課木村課長より説明がありました。

次に「まちをつくる・みんなで作る」を演題に、ライフスタイル研究所代表・NPO法人市民プロデュース理事長 船崎 美智子さんの講演がありました。

— 参画と協働による市民が主役のまちづくり — とは

(1) **まちづくり**：市民が幸せに安心して暮らせるまちをつくるための活動および事業

(2) **参画**：主体的に参加し、意思決定にかかわり行動すること

(3) **協働**：各主体がそれぞれの役割と責務のもと、対等な立場で共に考え協力連帯すること。

後半は、テーブルごとに別れて自己紹介、新聞紙でつくるスカイツリー高さ競争とアイスブレイク（心と身体の柔軟体操）で始まり、「私が幸せに安心して暮らせるまちとは」についてアイデアを出し合うワークショップでした。

- ・自分ができることはなんだろうか？
- ・私やみんなの「幸せ」とは何？、「安心」ってなに？
- ・一人ではできないけど、みんなでやるとできるアイデアがあるのでは？
- ・どんな人を巻き込んだらいいだろうか？

自由に考え、アイデアを書き出し、そのアイデアをまとめ、「キャッチフレーズ」や「深めたアイデア」を言葉にし、それぞれ付箋に書いて模造紙に貼り付けテーブルごとに発表しました。

広報しょうばら1月号に「まちづくり基本条例」の概要が掲載されており、近々にパンフレットもつくられるようです。皆さんの英知を結集して「幸せに安心して暮らせるまちづくり」を目指したいものです。



子ども将棋教室 “将棋大会”



平成23年度、生涯学習事業の一環として取り組んだ「子ども将棋教室」、初心者と経験者を合わせて12名の参加があり、昨年9月から2月までに12回の教室を開きました。

最終日の2月25日には将棋大会を開催。初心者は総当たり戦で時間を掛けての対戦が続いた末、2年生山本君が優勝。経験者は同率勝者同士が再度対戦し決定戦前から真剣な対局が続き、6年生笠原君が優勝しました。悔し涙もありましたが、大変盛り上がった大会になりました。



本町公衆衛生推進会

— 庄原浄化センター見学 —

庄原市本町公衆衛生推進会は、平成23年度支部長研修として、庄原浄化センターの視察研修を3月7日(水)に行ないました。

庄原浄化センターは平成8年に着工し、平成11年4月から汚水処理を開始しており、約3,900世帯が接続工事を終えているとのことです(接続率87.4%)。センターの概要の説明を受けた後、流入から放流・再利用の最終段階まで工程に従って説明を受けながら見学しました。流入水の中に混入してきた異物には、ビール缶や海苔の缶など驚くような物がありました。「広報しょうばら」3月号に下水道はルールを守って使ってほしいとの記事が載っていましたが、誰もが快適な生活を送るためにも今一度ルールの確認をしたいものです。



地域づくりリーダー育成 研修会

3月2日、庄原市自治振興区連合協議会と市自治振興課主催による、平成23年度地域づくりリーダー育成事業先進地視察が行われ、庄原市内の自治振興区役員と市職員の計40名が参加しました。

視察先は安芸高田市高宮町のエコミュージアム川根、視察内容は「川根振興協議会の取組み」と「安芸高田市新交通システム」。

午前の研修では、川根自治振興協議会の辻駒会長から、振興協議会の次の7つの活動について報告。

- ① **経済活動**・・・廃校となった中学校の跡地を活用して「交流拠点施設（エコミュージアム川根）」の立ち上げ、振興会を中心とした運営に年間4,000人余りの利用。
- ② **交流活動**・・・「ほたるまつり in 川根」に取組み、住民550人の地域で5,000人余りが参加。
- ③ **福祉活動**・・・安心して住める地域づくりのため、「1人1日1円募金」に取り組み、これを財源に一人暮らし高齢者の訪問活動と「まごころメール」として小学生が月1回手紙を届ける活動を展開。
- ④ **担い手確保**・・・地域の担い手確保のため「お好み住宅」を23棟確保し、義務教育終了までの子どもを持つ若者の定住促進。
- ⑤ **農地保全**・・・農地管理が困難な状況を克服のため「営農環境委員会」を設置し、農事組合法人との連携により農地保全活動。
- ⑥ **生活環境**・・・JAの撤退で店舗廃止を受けて、住民出資による「万屋（コンビニ）」「油屋（ガソリンスタンド）」を運営。
- ⑦ **生活交通**・・・公共交通の不便性を克服するため、市から委託事業として「かわねもやい便」を運行、通学・通院をはじめ、利用者の利便性と高齢者に配慮した取り組みを展開。

以上7つの活動について「なぜこの取組みを始めたか」「活動の効果」そして「課題」について説明。また以前は「地域の課題」は市への要求で対応出来ていたが、今日、地域課題解決は「住民自らの地域づくり」とおして、市と地域振興協議会がパートナーとして連携することで解決している等、会長のこれまでの豊かな経験に基づき、分かりやすく説明されました。

午後は、市職員により「安芸高田市の新交通システムについて」説明を受け、「万屋（コンビニ）」「油屋（ガソリンスタンド）」の現地研修を行い帰途に着きました。



平成23年度 人権学習会

今年も20の自治会で「地域づくり人権学習会」が開かれ、「クリームパン」「人権のヒント」「もう一度あの浜辺へ」「盲導犬イーグルの一生」「日常の人権」「親愛なるあなたへ」をテーマに作成されたDVDを視聴して活発な話し合いが行われ、コミュニケーションが図られました。

「自分の人権」「相手の人権」を守るには、お互いが相手の立場に立って物事を考えるひと呼吸が必要なようです。

実施自治会（3月6日現在）

新道下自治会	(7/10)	裁判所通自治会	(11/26)	西下自治会	(2/25)
美湯ハイツ自治会	(10/2)	大胡自治会	()	西中自治会	()
石丸自治会	(10/19)	川手下自治会	(12/4)	西県営住宅自治会	()
下本町自治会	(10/29)	大歳上自治会	(12/4)	実業通自治会	()
永末自治会	(11/18)	新道上自治会	(12/10)	西上自治会	(2/26)
大黒東自治会	(11/26)	柳原自治会	(2/12)	宮内自治会	(2/27)
大黒上自治会	()	大久保東自治会	(2/16)		

※ 宮の下自治会・川手中自治会 開催予定中

自治会活動コーナー

— 新道下自治会 —

新道下自治会は、去る1月29日参加者33名（後期高齢者50%）で、新年互礼会並びに高齢者問題を中心に研修会を行いました。講師には庄原市社協総合センター長の上田氏を招き、庄原市における少子高齢化の現状と社協活動についてのお話を頂きました。これからの地域福祉などの話は大変分かり易く説明はよく理解でき、その後の意見交換も活発に行われました。

話し合いの結果として

- ◆ 前期高齢者が地域を支える主役になる
- ◆ 交流の機会を増やす
- ◆ 自分で出来る事は自分です
- ◆ お互いのことを気にかける
- ◆ 出来る範囲内で他人の世話をする
- ◆ 見守り体制、ちょっとした支え合いが安心の大きな材料になる
- ◆ 地域で長く暮らしたいという当事者の願いをできるだけ支援するなどの意見がありました。



以上のことを踏まえて、今後さらに地域交流の機会を増やし、親睦を図ろうと思っています。

福祉団体連携会議発足

— 自治会長、民生委員児童委員、
ひとり暮らし高齢者等巡回相談員 —

今月の本区役員会に於いて、重点施策の1つである「高齢者の安全・安心確保」をどのように具体化するかをテーマに、各自治会で取組みを実施することが決定されました。

この会合では自治会長、担当民生委員、ひとり暮らし巡回相談員の方を交えて、各地域の現状把握と課題を相互確認しながら、地域住民が積極的に参加して、支援を必要とする高齢者や病弱な方への手助けをしようというものです。

地域の絆を深め、見守り、声かけ、支えあい等地域活動を一層強化していきたいものです。

4月の振興区主催行事予定

- 3日(火) 自治振興区総務企画室会議 13:30~
- 10日(火) 自治振興区理事会 13:30~
- 24日(火) 自治振興区役員会 13:30~
- 第2・4火曜日 環境美化・防犯パトロール
(東下・大歳上・大歳下・宮の下の各自治会長)
- 毎週1回 青少協防犯パトロール 16:30~

火の用心

3月1日、春の全国火災予防運動（3/1～3/7日）に合わせて、庄原幼稚園の全園児39名が幼稚園→市役所→広島銀行→幼稚園までの約1.4キロを庄原消防署員のリードで「マッチ一本火事のもと」「消したかなあなたを守る合い言葉」カッチ・カッチとかわいい法被姿で防火パレードを行いました。

暖かくなるにつれ、暖房器具への注意力は疎かになり、農作業の野焼き等忙しくなってきました。春の強風、空気の乾燥、火の元には十分注意しましょう。



編集後記

寒さも緩み、鶯も里山を澄み渡る声で上手に鳴いています。また、上野池の桜も蕾が大分膨らみ、眠っていた動植物も眠りから覚め、春は足元までやってきました。

月日の経つのは早いもので、今年も1年間の事業活動を総括する時期となりました。

本区では今年度、より安全で、より安心なまちづくりを進めるため、各自治会に地域に根ざした自主防災組織の立ち上げや、民生委員児童委員とひとり暮らし高齢者等巡回相談員との連携会議を開催し、地域の課題解決に向け、情報を共有する取組みを実施してきました。これらの活動を検証し、次年度への対策を考えたいと思いますので、区民の皆さんのご意見をお聞かせ下さい。 T記